

審査項目と審査基準【2026年度版】

審査項目		審査基準	応募申請書における依頼事項	応募申請書の種類
大項目	中項目			
1.	過年度採択時の寄付金活用による成果・自己評価 ※過年度（2023・2024・2025年度）に採択された大学・機構からの応募の場合	—	・当てはまるパターンに、チェックを入れて下さい。 A いずれかの過年度採択内容と同様の取り組み B 過年度採択内容と異なる取り組み ・A、Bのいずれの場合であっても、「過年度採択時の寄付金活用による成果・自己評価」を本申請書に記載し、その内容を踏まえた提案としてください。 ・Aに当てはまる場合は、以下の点を本申請書に記載してください。 「1-2 本プログラム活用の目的」で、本年度も同様の取り組みを提案する理由	過年度採択の大学・機構用のみ
	過年度採択内容の自己評価	・過年度の採択時に配分を受けた寄付金について、活用状況、成果が明確に記載されているか。 ・活用状況や成果を元に適切に振り返りが行われており、自己評価の内容が妥当であるか。	・過年度の採択時に配分を受けた寄付金について、活用状況や成果、およびそれらの自己評価を記載してください。 複数年度の採択歴がある場合、各年度で異なる取り組みを行った際は、それぞれの取り組みに関する記載をお願いします。各年度で同様の取り組みを行った際にはまとめた記載でも構いません。 また、項目1-1(2)、1-2、2では、本項目に記載の状況、成果や自己評価を踏まえた記載をお願いします。	過年度採択の大学・機構用のみ
1.	1-1(1) 基礎研究力等の現状と課題	・申請大学・機構等の研究力（特に基礎研究力）や次世代を担う研究者育成に関する現状認識と課題、課題に対する方針やこれまでの取り組み状況が明確であるか。 ・一般的な現状認識・課題に留まらず、各大学・機構固有の視点に基づき整理・分析がなされているか、またその内容が妥当であるか。	自大学・機構の規模や研究力を前提としたうえで、大学の課題を分析・認識し、その課題に即した解決策や寄付金の活用方法を提案してください。 ・ 貴学の研究力、特に基礎研究力に関して、現状と課題を記載してください。 ・ 次世代を担う研究者の育成に関して、現状と課題を記載してください。 ・ 現状と課題に関する全学の方針や、これまでの取り組み状況を記載してください。これまでの取り組み状況を受けた成果に関し、定量的な情報があればその情報も記載してください。 （※）【重要】本項目は、他の項目より特に重要視して評価します。 ここでは各大学・機構の特性（立地・規模・注力分野や実績・その他所属する研究者の特性、など）を考慮の上、それぞれの大学・機構が抱える固有の課題を、具体的・定量的な事例・状況と共に記載してください。	共通
	1-1(2) 基礎研究力等の現状と課題を踏まえた本プログラム活用の位置づけ	・1-1(1)に記載された基礎研究力等の現状と課題の中で、本プログラムの活用の位置づけが明確であるか。 ・各大学・機構の特性や課題に即した、独自性の高い内容として妥当であるか。 ・過去採択内容との関係性が明確であり、成果・自己評価を踏まえた記載となっているか。（「過年度採択時の寄付金活用による成果・自己評価」参照）	・基礎研究力の向上や次世代を担う研究者の育成に関して、1-1(1)で記載した現状と課題、方針やこれまでの取り組み状況、さらに科学研究費助成事業等の公的な研究費の活用状況等を踏まえた、本プログラム活用により特に解決を目指す課題や、活用により得たいと考えている効果を記載してください。 ・過去の本プログラム採択によるものを含め、既存の学内研究支援の体制やプログラムと連動させる場合には、既存プログラム等の特徴と課題を示したうえで、本寄付金の既存プログラム等における位置づけや関係を示してください。 （※）【重要】本項目は、他の項目より特に重要視して評価します。 <u>冒頭「過年度採択時の寄付金活用による成果・自己評価」、並びに1-1(1)へ記載した各大学・機構固有の現状と課題を踏まえ記載してください。</u>	下線部 過年度採択の大学・機構用のみ記載
	1-2 本プログラム活用の目的や取り組み内容	・本プログラム活用の目的や取り組み内容が、1-1の記載内容および本プログラムの趣旨（幅広い分野の基礎研究者、特に次世代を担う研究者への支援）や特性（研究者直接ではなく研究マネジメントを対象に拠出する寄付金）に照らして妥当であるか。 ・過去採択の成果・自己評価を踏まえた記載となっているか。（「過年度採択時の寄付金活用による成果・自己評価」参照） ・（「A いずれかの過去採択内容と同様の取り組み」に当てはまる場合）本年度も同様の取り組みを提案する理由が明確であり、妥当であるか。 （※）個別の研究テーマ等に関する目的ではなく、基礎研究力向上・研究者支援の観点からの目的を評価する。	・1-1の記載内容および本プログラムの趣旨（幅広い分野の基礎研究者、特に次世代を担う研究者の支援）や特性（研究者直接ではなく研究マネジメント組織を対象に拠出する寄付金）を踏まえ、本プログラムに申請し、活用する目的や取り組み内容を記載してください。 （※）個別の研究テーマ等に関する目的や取り組み内容ではなく、研究力向上・研究者支援の観点から、目的や取り組み内容を記載してください。 <u>（※）冒頭「過年度採択時の寄付金活用による成果・自己評価」を踏まえた内容としてください。</u> （※）「過去の採択提案との関係性」でAにチェックを入れた場合は本年度も同様の取り組みを提案する理由をご記載ください。	下線部 過年度採択の大学・機構用のみ記載
2.	—	過去採択の成果・自己評価を踏まえ、本年度の申請で取り入れる工夫点や取り入れる理由が明確かつ妥当であるかを考慮し評価する。（「過年度採択時の寄付金活用による成果・自己評価」参照）	（※）冒頭「過年度採択時の寄付金活用による成果・自己評価」を踏まえ、本年度の申請で取り入れる工夫点や取り入れる理由を、その工夫が該当する項目欄に記載してください。	過年度採択の大学・機構用のみ
	2-1 寄付金配分の計画 （※）「過年度採択時の寄付金活用による成果・自己評価」を踏まえ、工夫点などを含めた内容としてください。	・寄付金を配分する研究者の人数や金額など、寄付金配分の計画が具体的であるか。 ・（b）を使途として想定する場合、その理由や金額などが具体的かつ、1. に記載の目的を踏まえて妥当であるか。 ・（a）と（b）の配分額・割合が明確であり、申請総額の60％以上を目安として（a）へ分配されているか。	寄付金を受け取った後、それを配分する研究者の人数や金額などの計画を記載してください。 寄付金は以下の使途（経費）にて使用が可能です。それぞれ配分金額および、申請総額における割合を記載してください。 （a）学内選考等を経た次世代を担う基礎研究者・チームへ直接分配する研究費等 （b）その他、学内の組織的な基礎研究力向上のための取り組みに係る経費 （研究者選定に係るURAや産学連携部門の経費等の本プログラムの学内運用に必要な経費、学内の課題に応じた基礎研究力強化へ向けた取り組みのための経費等） （※1）（a）には、申請総額の60％以上を目安として充当してください。 （※2）本プログラムで提供する資金の活用に関わる直接的な経費にのみ使用ください。なお、研究者の生活支援、大学・機構の施設設備費への充当は不可とします。	共通
	2-2 配分プロセス・スケジュール	研究者への寄付金の配分プロセス（募集・審査・配分等）やスケジュールが具体的であり、その中にプログラム活用の目的を達成するための工夫があるか。	・寄付金を受け取った後、それを配分するプロセス（例えば募集・審査・配分等）の全体像やスケジュールを記載してください。	共通

審査項目		審査基準	応募申請書における依頼事項	応募申請書の種類
大項目	中項目			
	2-3 研究者に配分する寄付金の使途の想定	各研究者に配分する寄付金の主な使途やその理由が、本プログラムの趣旨および1－2記載のプログラム活用の目的に合致しており、効果的であるか。	・研究者に配分した寄付金について、その使途*として想定する主なものを、その理由と共に記載してください。 *本プログラムの趣旨や科学研究費助成事業等の公的な研究費の活用状況等を踏まえ、研究者の活動を支援する使途の分類（例：研究交流のための海外渡航費、研究室の補助人員雇用費、書籍購入費、等）を記載してください。個人・個別の研究に紐づいた使途（例：〇〇研究の成果発表のための学会発表）は記載しないでください。	共通
3. 寄付金活用のためのマネジメント体制や方法	3-1 配分先の選定のための体制や方法	・配分先を選定・決定する体制が具体的であり、プログラム活用の目的を達成するための工夫があるか。 ・選定基準や考え方が、本プログラムの趣旨および1－2の記載のプログラム活用の目的に照らして、妥当であるか。	・配分先を選定し、最終的に決定する体制や方法を記載してください。選定基準や選定の際の考え方などが明確になっているようであれば、その背景と共に記載してください。 ・審査委員会等の会議体を設ける場合、その位置づけ・役割を記載してください。	共通
	3-2 学内における利益相反マネジメントのための体制や方法	(1)利益相反マネジメントに関する学内の一般的な体制について	・貴学における利益相反マネジメント体制および、利益相反マネジメント規程・規則の策定状況（名称・制定日・最終改正日）を記載してください。 ・また、貴学の利益相反マネジメントポリシー・規程類をWebサイトで掲載している場合は、そのURLを記載してください。 （※）本依頼事項を満たさない場合は、採択を見送る場合がございます。	共通
		(2)学内にて本プログラムの審査を行う際の利益相反マネジメント体制について	・本寄付金の学内配分における利益相反マネジメント体制について記載してください。 ・また、寄付金の学内配分に関して、申請時・審査時のみならず、寄付金受取後も含めた期間*における配分対象者と第一三共との利害関係の把握方法や、そのマネジメント方法について、具体的に記載してください。 *原則、寄付金活用期間（応募要項8.記載）とする。 （※）本依頼事項を満たさない場合は、採択を見送る場合がございます。	共通
	3-3 寄付金の使用状況や成果把握のための体制や方法	寄付金の使用状況や寄付金による成果の把握のための体制や方法が具体的かつ効率的か。	・寄付金の使用状況や成果の把握の体制や方法を記載してください。 （※）寄付金を配分した後、その内容の報告をお願いしています。（詳細は応募要項を参照。）	共通
4. 寄付金を配分する部門の体制整備	4-1 寄付金を配分する部門の関連実績	本寄付金に類似する実績（学部・組織横断的な研究者支援を行った実績や、寄付金等の外部資金や学内資金を活用して研究者を支援した実績等）があるか。	・今回申請を行い、寄付金を配分する部門を中心とした学内の関連実績のうち、代表的なものを3件まで記載してください。 ・関連実績とは、例えば学部・組織横断的な研究者支援、あるいは寄付金等の外部資金や学内資金を活用した研究者支援等の実績を指しますが、この限りではありません。	共通
	4-2 寄付金を配分する部門のフォローアップ体制	4-1で示された実績等を受け、今回の提案の確実な実施を担保する体制整備があるか。	3-1で記載した「配分先を選定し、最終的に決定する体制」について、4-1の「寄付金を配分する部門の関連実績」を踏まえ、提案を確実に実施するための体制整備上の工夫などを記載してください。	共通